

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、あなたや他の人々の危害や損害を未然に防止するためのものです。  
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

## 安全に関する記号 記号の意味


**警告**

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。


**注意**

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

## 一般情報に関する記号


**ポイント**

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。



- 取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。


**補足**

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

## <施工の前に>


**注意**

- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。
- フェンスは隣地境界を目的に設置するものです。防護柵や手すり等としては使用しないでください。
- 部材変形防止のため、製品保管状況を確認してください。
  - ・当製品は、木粉入り高密度樹脂製でできており、熱変形することがあります。取扱いには十分注意してください。
  - ・平らな場所に保管してください。（立てかけて置かないでください）
  - ・暖房機、焚き火近くの高温になる場所には保管しないでください。
  - ・製品上に重量物を長時間重ね置きしないでください。
- 設置場所を確認してください。
  - ・給湯器や暖房機などの熱排気が、製品に直接当たらないように施工してください。熱による部材の変形・劣化のおそれがあります。
  - ・施工場所に寸法的に正しく納まるか事前に十分確認をしてください。
  - ・本製品は一般住宅の一階相当部施工用です。それ以外の場所への取付けはおやめください。
- T-18をデッキ上に設置する場合は、あらかじめ指定の箇所に床板補強材を組み込み施工してください。
- 施工プランと必要部材が揃っているか確認してください。

## <施工上のご注意>

### 注意

- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
  - ・ 作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、耳、手、足の保護具）を正しく使用してください。
  - ・ 作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。  
特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
  - ・ 器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
  - ・ 作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
  - ・ 作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分確認し、健康管理を実施してください。
  - ・ 万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- 取付説明書の指示通りに組付けてください。製品の強度の低下、材料破損をする場合があります。
- ネジは弊社純正品の規定本数を確実に締付け、固定してください。
- 施工中についた表面すりキズは、引き渡し前に研磨紙で補修してください。表面研磨する場合は、事前の研磨方向に沿って（平行）行なってください。
- 施工中についた表面の汚れやシミは、引き渡し前に水洗いをしてください。中性洗剤を薄めたものを使用した場合は、よく水洗いをしてください。

## ■ 梱包明細表

【1】主柱セット・ベース仕様

名 称	略 図	員 数	
		T-12	T-18
主柱(ベース仕様)		1	1
柱下側スリーブ材		1	1
柱キャップ		1	1
【1-1】φ4×20サラタッピン3種		4	4
【1-2】φ5×40ナベタッピン2種 G=5		4	4
【1-3】φ4×16サラドリルネジ		2	—

【2】アルミ主柱セット・ベース仕様

名 称	略 図	員 数
アルミ主柱(ベース仕様)		1
柱キャップ		1
【2-1】φ5×40ナベタッピン2種 G=5		4
【2-2】φ4×16サラドリルネジ		2

【3】ベース用コーナー柱セット

名 称	略 図	員 数
コーナー柱(ベース仕様)		1
コーナー柱化粧材		1
【3-1】φ4×35サラドリルネジ		2

【4】ベースプレートセット

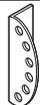
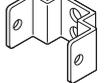
名 称	略 図	員 数			
		大引き 固定用	床板補強材 固定用	床板 固定用	コーナー柱 固定用
ベースプレート		1	1	1	—
ベースプレート(コーナー柱用)		—	—	—	1
フェンス-大引き固定アングル		2	—	—	—
フェンス固定アングル		—	—	2	2
【4-1】φ4×13ナベドリルネジ		4	—	—	—
【4-2】φ5×60ナベドリルネジ		6	6	5	6
【4-3】M5×60トラス小ネジ		—	—	2	2
【4-4】φ4×30サラタッピンネジ		—	—	—	4

## ■梱包明細表 (つづき)

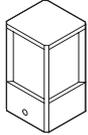
### 【5】柱控え部材セット(T-18)

名 称	略 図	員 数
柱控え部材		1
【5-1】φ5×30ナベドリルネジ		2
【5-2】φ5×70ナベドリルネジ		3

### 【6】ルーバーパネル(可動式)

名 称	略 図	員 数
		T-12、T-18
パネル本体		1
ツマミ		1
ストッパー受け		1
柱枠固定金具 上用		2
柱枠固定金具 下用		2
ライナー		2
【6-1】M5×15トラス小ネジ		2
【6-2】M5×8トラス小ネジ		2
【6-3】M5バネ座金		2
【6-4】φ4×19ナベドリルネジ		8
【6-5】M5×14トラス小ネジ		4
取付説明書〈E212〉	—	1
取扱説明書〈UE060〉	—	1

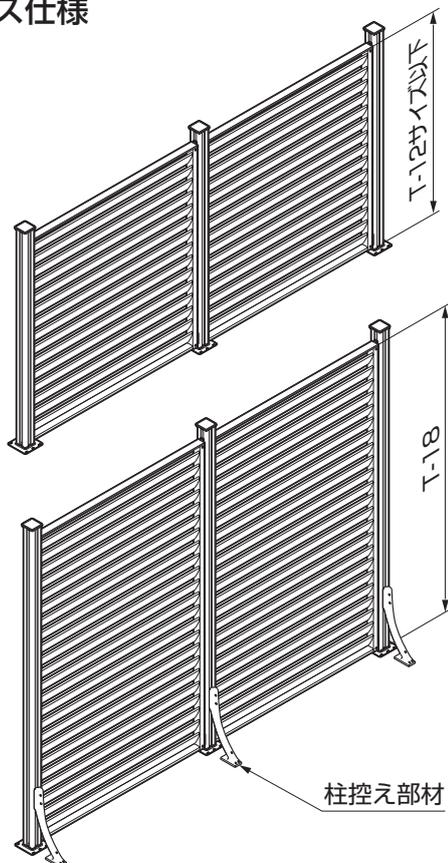
### 【7】DHH-3型 **オプション**

名 称	略 図	員 数
DHH-3型 ※		1
取付金具		2
取付説明書〈Z219〉	—	1
取扱説明書〈UZ215〉	—	1

※部品類はDHH-3型に付属しています。

# 1. 施工時の重要注意事項

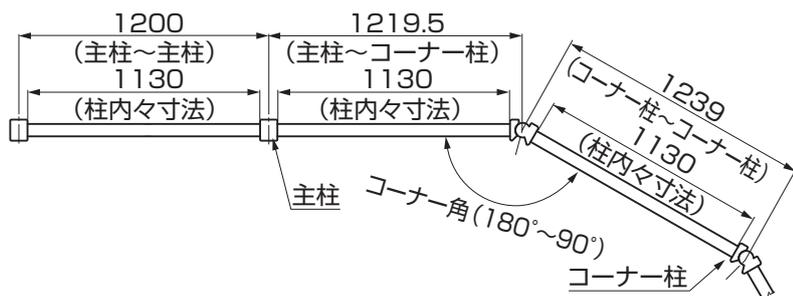
## 1-1 ベース仕様



### ポイント

- T-18のフェンスには、必ず柱控え部材を組付けてください。
- 柱控え部材の下に、床板補強材が入っていることを確認してください。「樹の木Ⅲ〈E203〉」の取付説明書を参照してください。

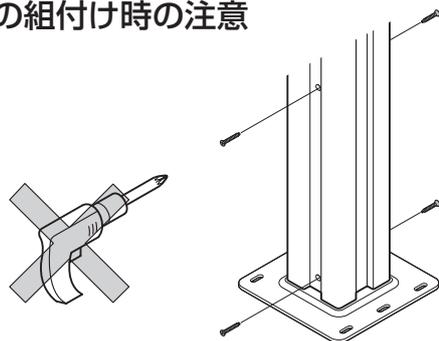
## 1-2 コーナー柱仕様



### 補足

- コーナー柱を使用する場合、柱ピッチが変わりますので注意してください。
- コーナー角の対応角は180°~90°です。

## 1-3 人工木の組付け時の注意



### ポイント

- 人工木の取付けには電動ドライバーを使用しないでください。
- 人工木はネジを締め込みすぎると割れる恐れがありますので注意してください。

## 2. 基本寸法図

### 2-1 T-12

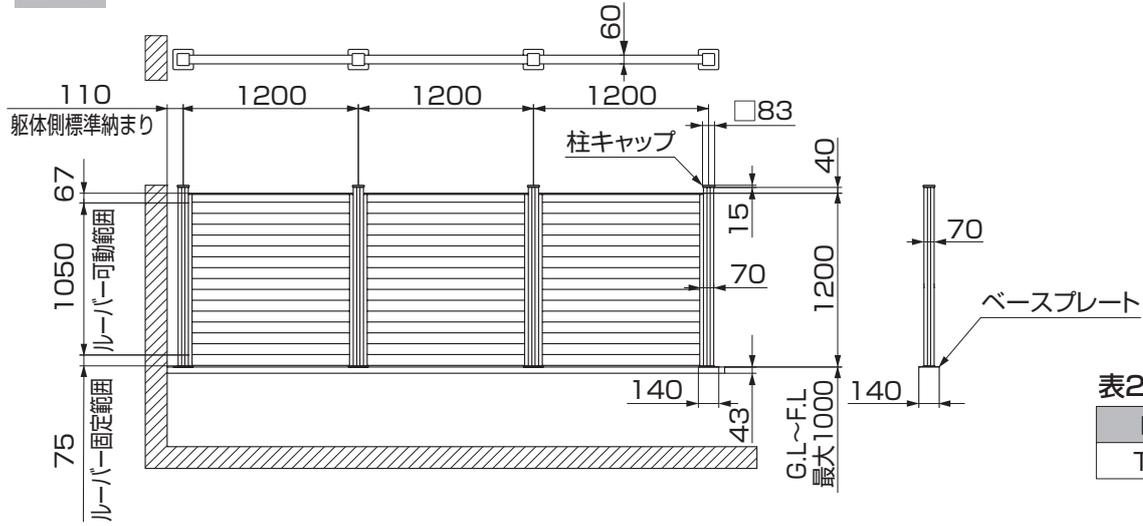


表2-1

呼称	H寸法
T-12	1200

### 2-2 T-18

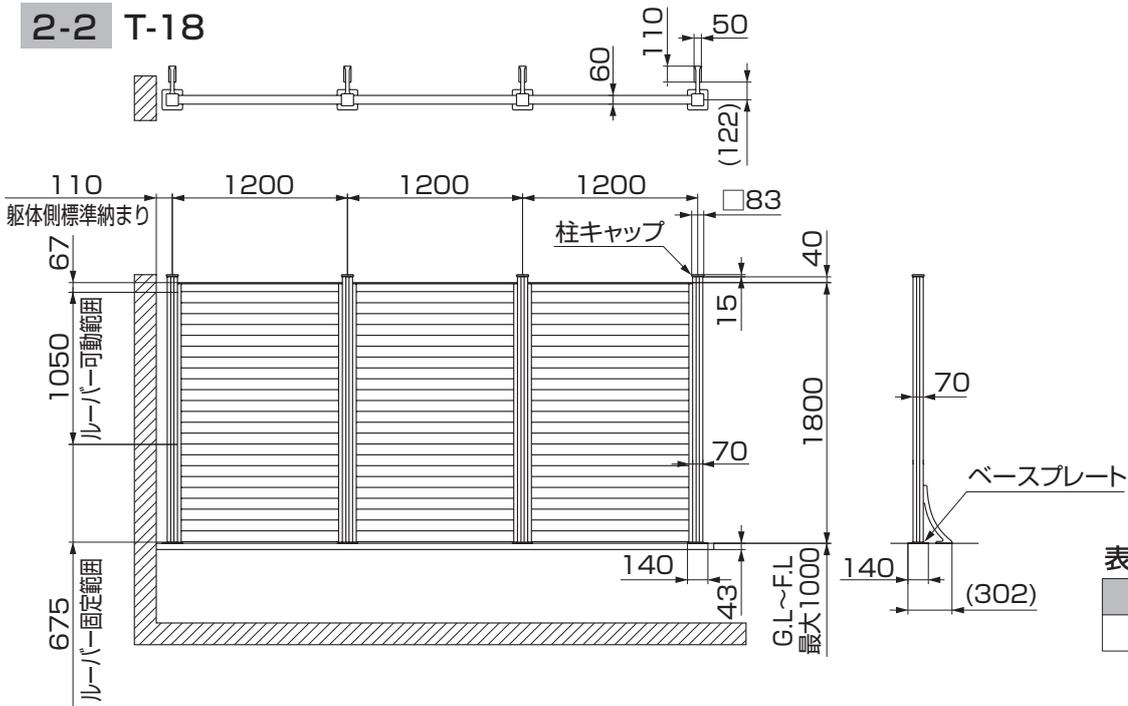


表2-2

呼称	H寸法
T-18	1800

### 3. 柱の準備

#### 3-1 主柱（ベース仕様）の場合

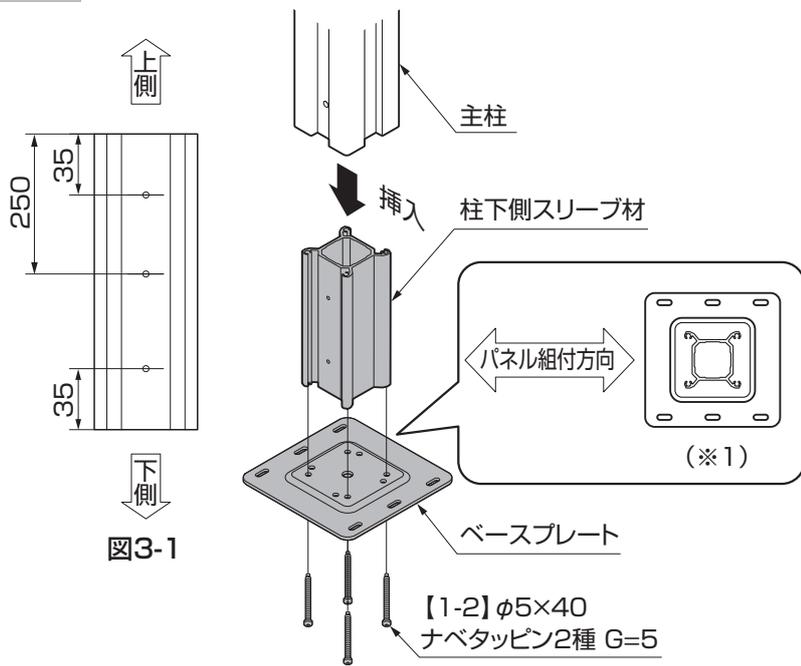


図3-1

図3-2

【1-1】φ4×20サラタッピン3種  
(下孔加工済)

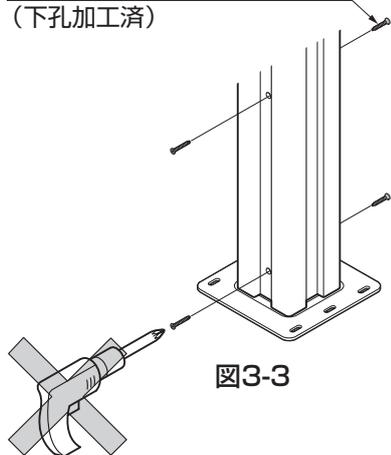
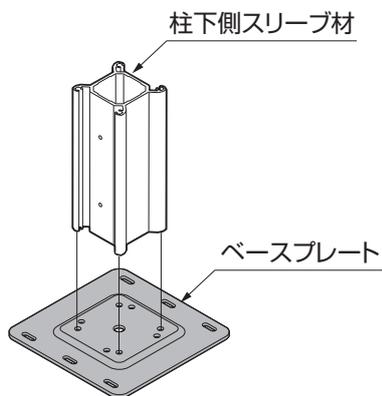


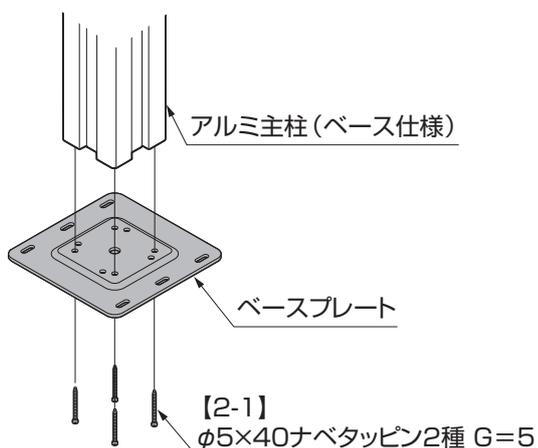
図3-3



90°回転（デッキ側面組付時）

図3-4

#### 3-2 アルミ主柱（ベース仕様）の場合



【2-1】  
φ5×40ナベタッピン2種 G=5

#### 補足

- 柱には上下の区別があります。柱下側スリーブ材がテープ止めされている側が下になります。
- T-12以上の柱スリーブには上下の区別があります。(図3-1参照)

- ①ベースプレートの裏側から柱下側スリーブ材を、【1-2】で4ヶ所ベースプレートの向きに注意して固定してください。(※1)
- ②主柱を、ベースプレートに組付けた柱下側スリーブ材へ挿入してください。(図3-2参照)
- ③主柱の孔位置から【1-1】で、主柱と柱下側スリーブ材を固定してください。(図3-3参照)

#### ポイント

- 主柱の取付には電動ドライバーを使用しないでください。
- 人工木はネジを締め込みすぎると割れる恐れがありますので注意してください。
- デッキ側面に柱を組付ける場合、ベースプレートを90°回転して固定してください。(図3-4参照)

#### 補足

- 柱には上下の区別があります。ベースプレートと合わせた時に、平行に取付けできる側が下になります。

- ①ベースプレートの裏側からアルミ主柱（ベース仕様）を【2-1】で、4ヶ所固定してください。

## 4. 柱の組付け

### 4-1 ベース柱

#### (1) 正面床板固定の場合

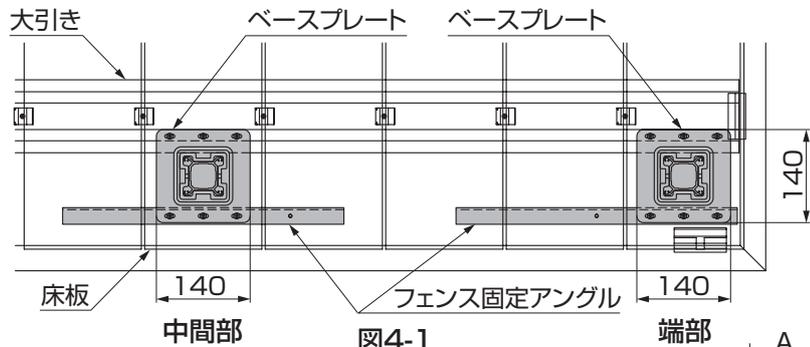
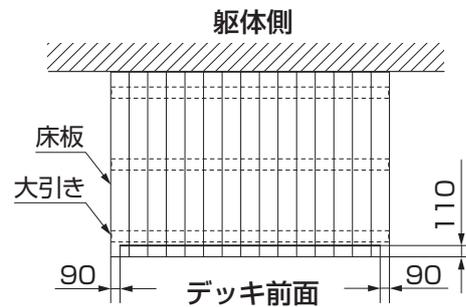


図4-1



柱設置可能範囲（柱芯寸法）

図4-2

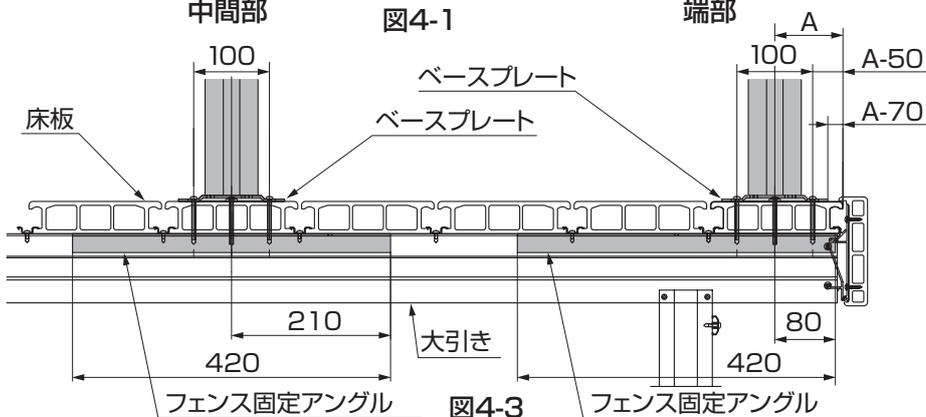


図4-3

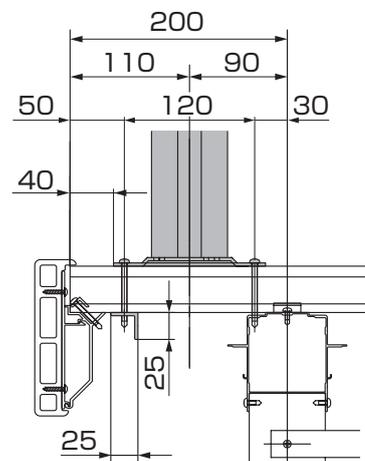


図4-4

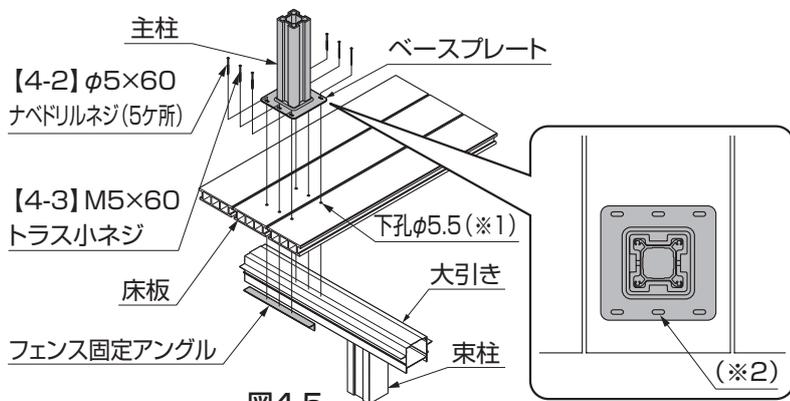
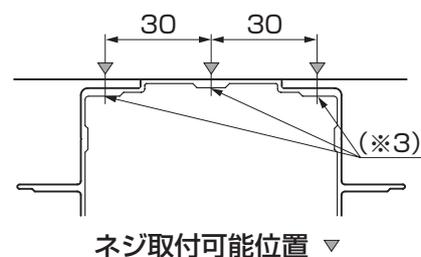


図4-5



ネジ取付可能位置

図4-6

①柱の固定位置を決めてください。

#### ポイント

- デッキの中間部に立てる場合、端部に立てる場合には、図4-1、図4-2、図4-3、図4-4を参照して取付けてください。
- 図4-3のA寸法値の最小値は90mmです。
- 図4-3のA寸法の最大値は、フェンス固定アングルに手が届く約400mmの範囲内で自由に設定することができます。

②ネジ位置をマーキングしてください。

③マーキングした床板にφ5.5の下孔をあけてください。(※1)

#### 注意

- 大引きにネジを取付ける際、図の位置3ヶ所(※3)以外に取付けないでください。

④ベースプレートを【4-2】で、床板の下の大引きまで3ヶ所取付けてください。

⑤デッキ前面の中心の下孔とフェンス固定アングルの孔を合わせて、ベースプレートを【4-3】で取付けてください。(※2)

⑥【4-2】で、床板の下にフェンス固定アングルをあてて2ヶ所取付けてください。

## 4. つづき

### (2) 正面大引き固定の場合

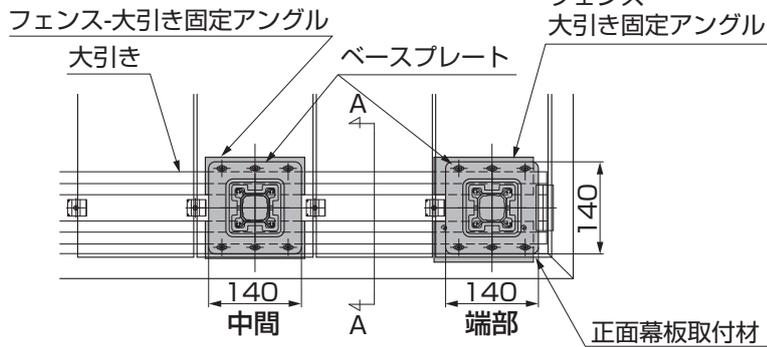


図4-7

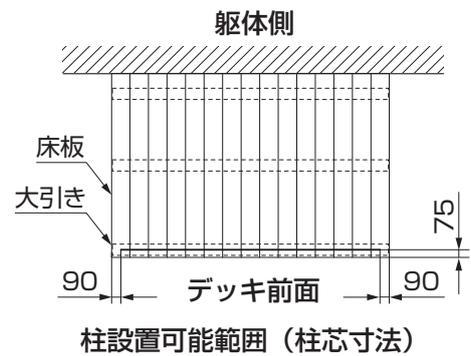


図4-8

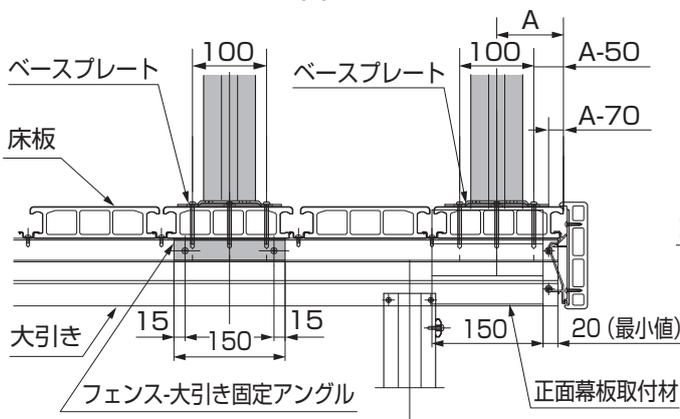


図4-9

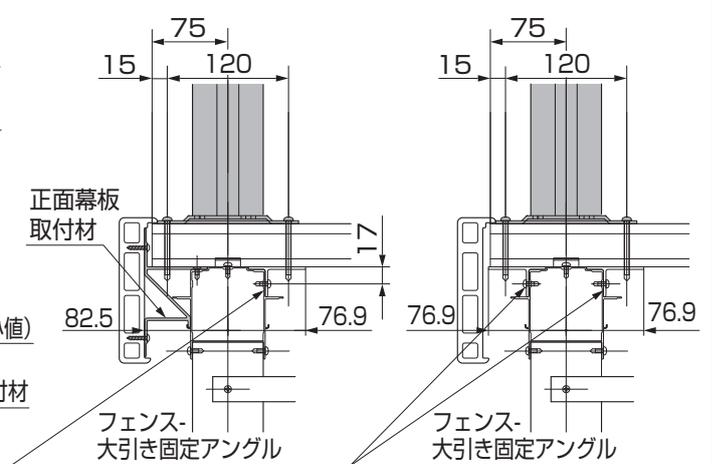


図4-10 A-A矢視図

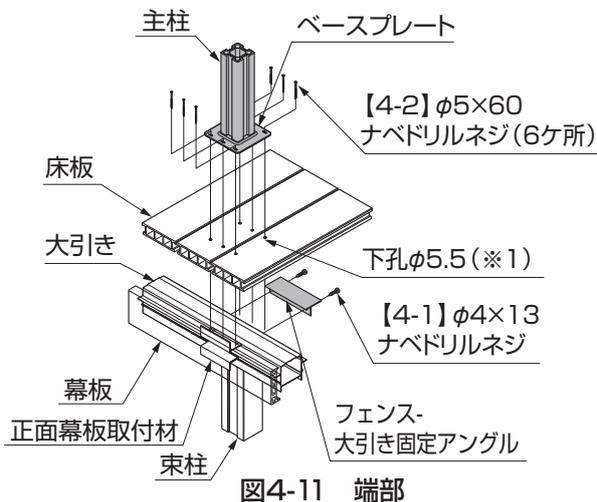


図4-11 端部

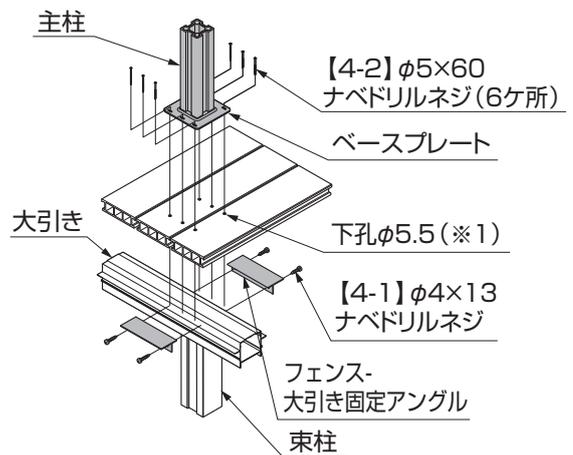


図4-12 中間

①柱の固定位置を決めてください。

#### ポイント

- デッキの中間部に立てる場合、端部に立てる場合には、図4-7、図4-8、図4-9、図4-10を参照して取付けてください。
- 図4-9のA寸法値の最小値は90mmです。
- 図4-9のA寸法の最大値は、フェンス-大引き固定アングルに手が届く約400mmの範囲内で自由に設定することができます。

②ネジ位置をマーキングしてください。

③マーキングした床板に、φ5.5の下孔をあけてください。(※1)

④大引きにフェンス-大引き固定アングルを、【4-1】で取付けてください。

⑤ベースプレートを【4-2】で、床板の下の幕板固定金具またはフェンス-大引き固定アングルまで取付けてください。

## 4. つづき

### (3) 側面床板固定の場合

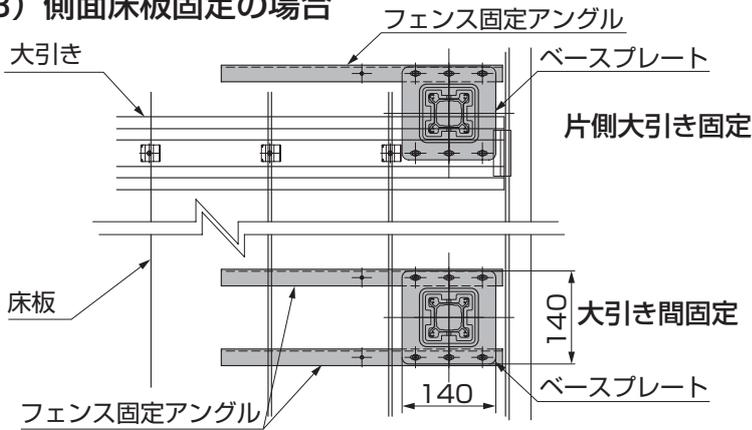


図4-13

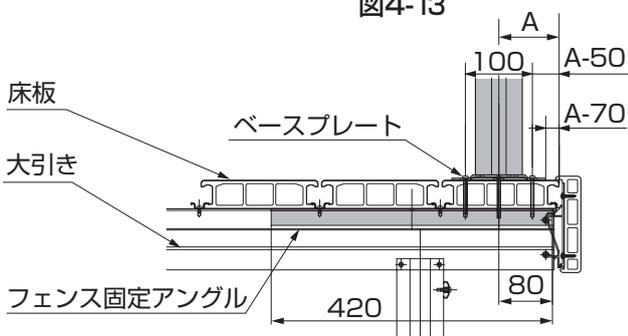


図4-15

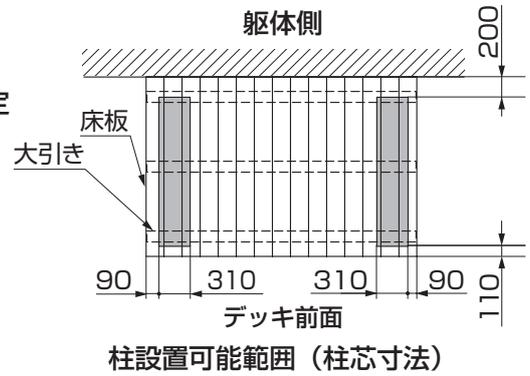


図4-14

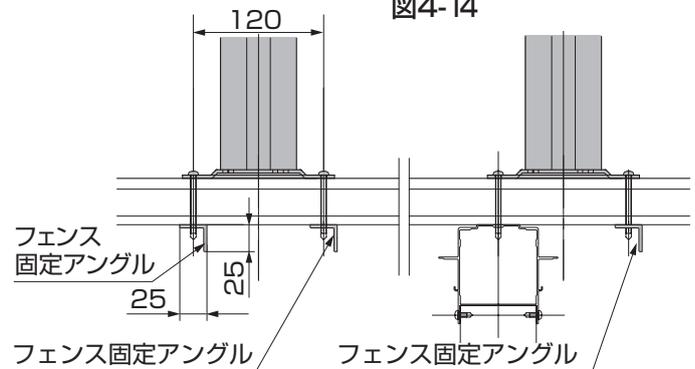


図4-16

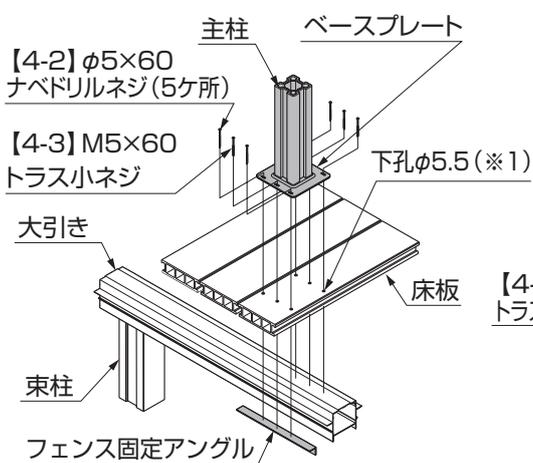


図4-17 片側大引き固定

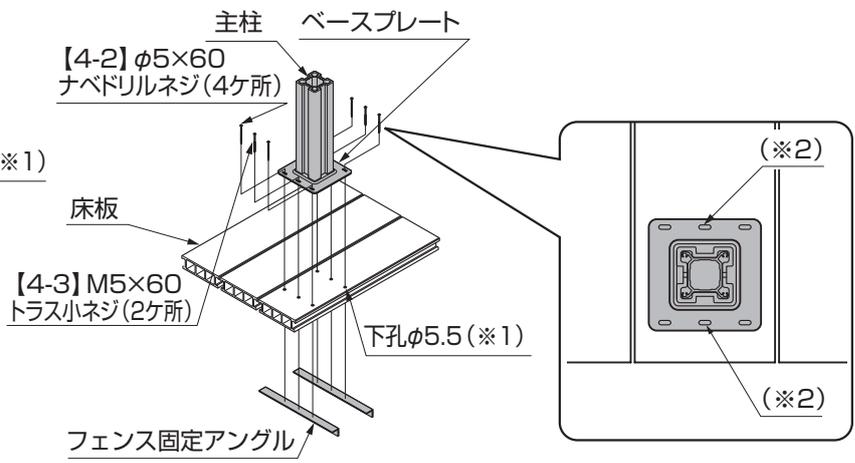


図4-18 大引き間固定

①柱の固定位置を決めてください。

#### ポイント

- 片側を大引きに固定して立てる場合、大引き間に立てる場合には、図4-13、図4-14、図4-15、図4-16を参照して取付けてください。
- 図4-15のA寸法値の最小値は90mmです。
- 図4-15のA寸法の最大値は、フェンス固定アングルに手が届く約400mmの範囲内で自由に設定することができます。

②ネジ位置をマーキングしてください。

③マーキングした床板にφ5.5の下孔をあけてください。(※1)

④片側大引き固定の場合は、「4-1 ベース柱 (1) 正面床板固定の場合」の端部への取付けを参照してください。

⑤大引き間固定の場合、デッキの中心の下孔と、フェンス固定アングルの孔を合わせて、ベースプレートを【4-3】で2ヶ所取付けてください。(※2)

⑥ベースプレートを【4-2】で、床板の下にフェンス固定アングルをあてて4ヶ所取付けてください。

## 4. つづき

### (4) 側面床板補強材固定の場合

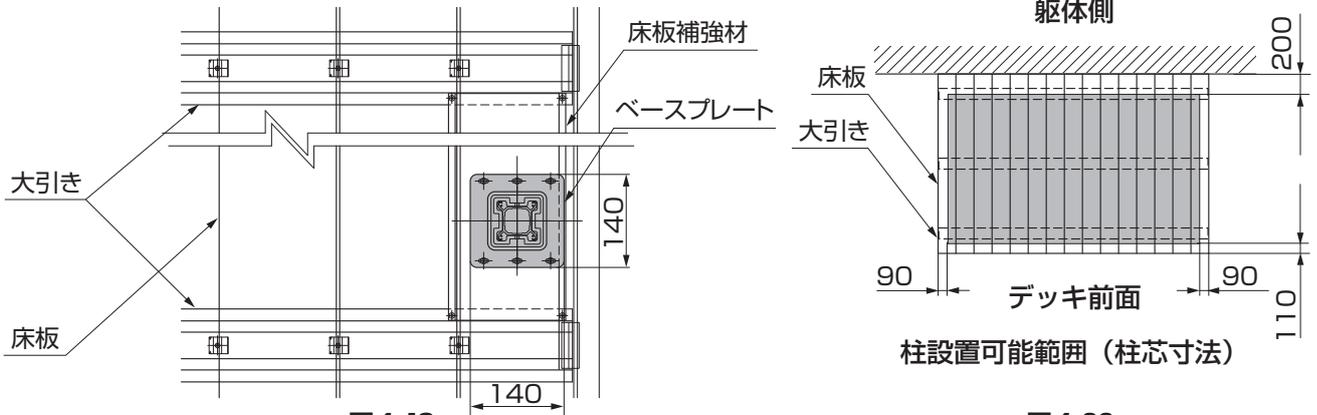


図4-19

図4-20

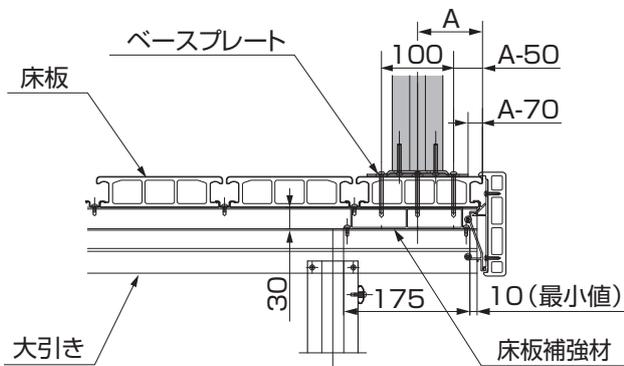


図4-21

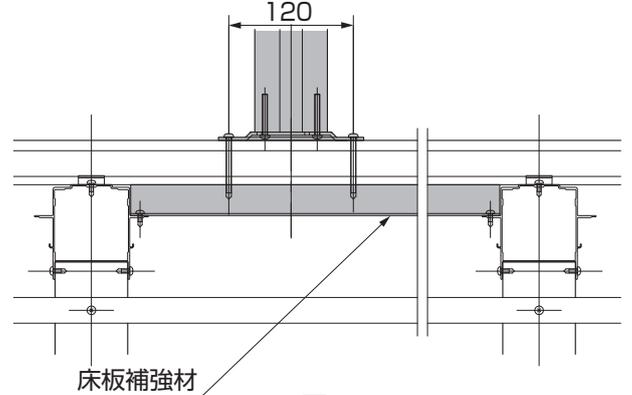


図4-22

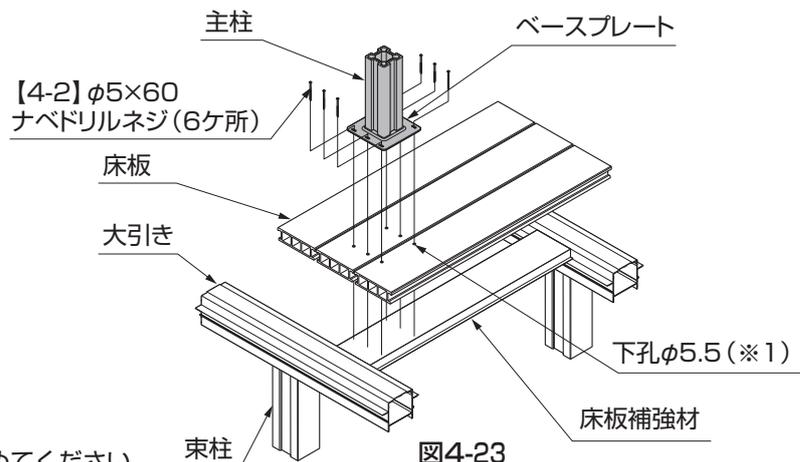


図4-23

①柱の固定位置を決めてください。

#### ポイント

- デッキ施工前に補強材を取付けてください。
- デッキに図4-19、図4-20、図4-21、図4-22を参照して取付けてください。
- 図4-21のA寸法値の最小値は90mmです。
- 図4-21のA寸法の最大値は、フェンス固定アングルに手が届く約400mmの範囲内で自由に設定することができます。
- 柱を立てる床板の下に床板補強材があることを確認してください。

②ネジ位置をマーキングしてください。

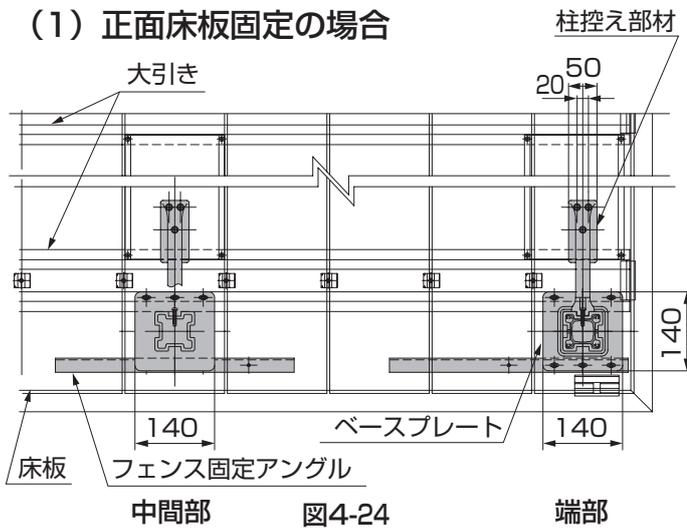
③マーキングした床板にφ5.5の下孔をあけてください。(※1)

④ベースプレートを【4-2】で、床板の下の床板補強材まで取付けてください。

# 4. つづき

## 4-2 T-18のベース柱

### (1) 正面床板固定の場合



中間部 図4-24

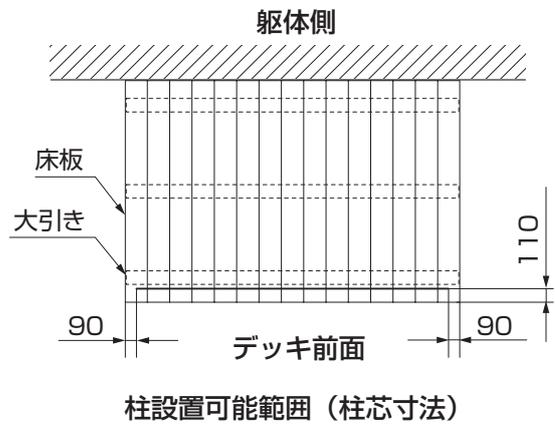


図4-25

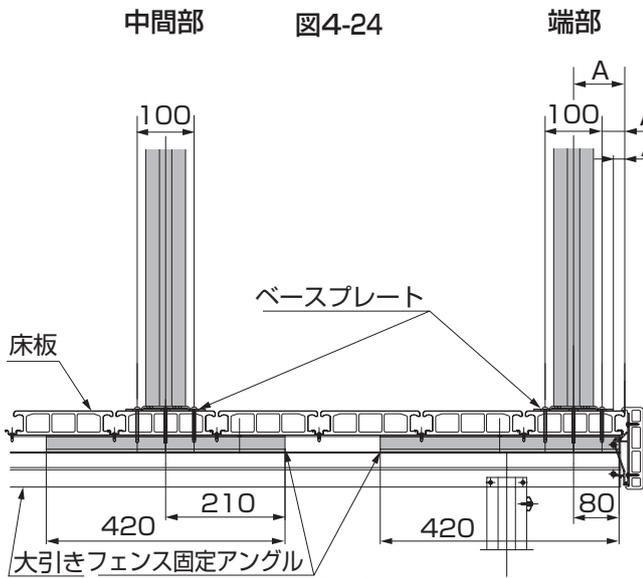


図4-26

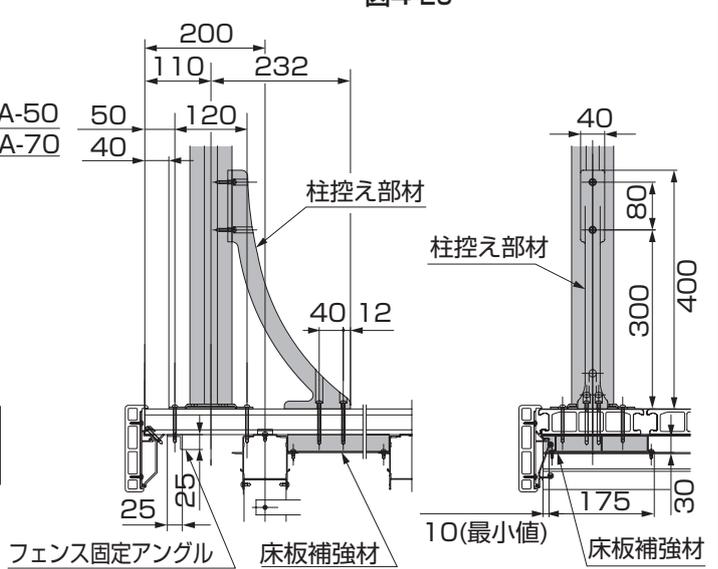


図4-27

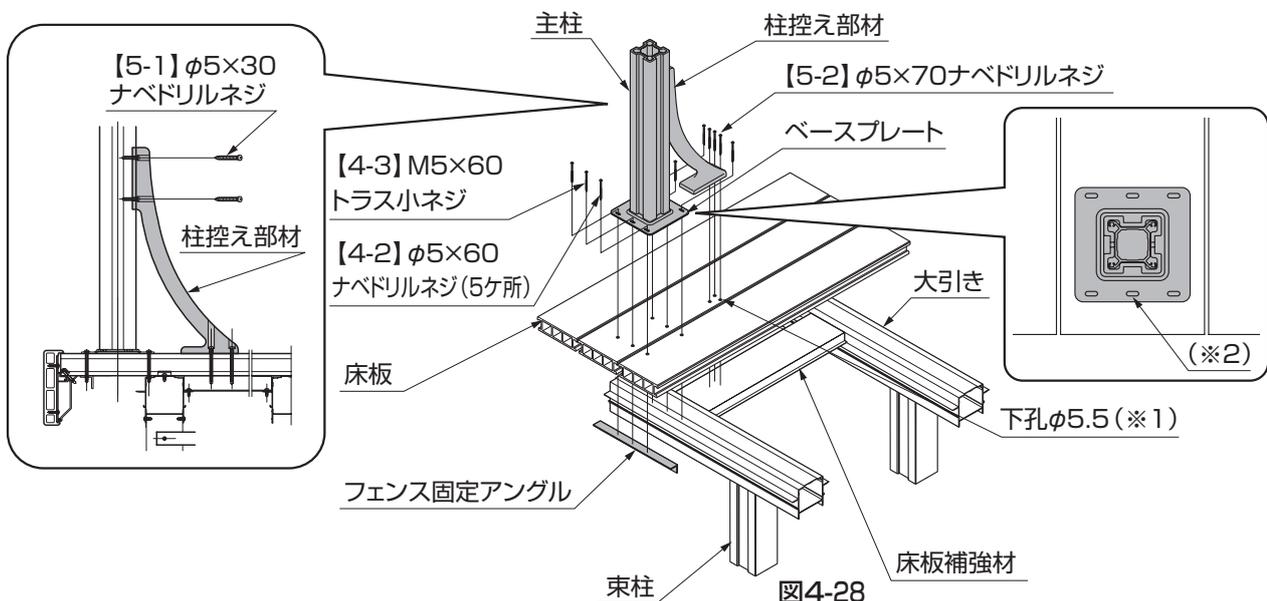


図4-28

## 4. つづき

①柱の固定位置を決めてください。

### ポイント

- デッキ施工前に床板補強材を取付けてください。
- デッキの中間部に立てる場合、端部に立てる場合には図4-24、図4-25、図4-26、図4-27を参照して取付けてください。
- 図4-26のA寸法値の最小値は90mmです。
- 図4-26のA寸法値の最大値は、フェンス固定アングルに手が届く約400mmの範囲内で自由に設定することができます。
- 柱は必ず床板の下に床板補強材のある位置に取付けてください。

②柱と柱控え部材を取付けるネジ位置をマーキングしてください。

③マーキングした床板にφ5.5の下孔をあけてください。(※1)

④ベースプレートを【4-2】で、床板の下の大引きまで3ヶ所取付けてください。

⑤デッキ前面の中心の下孔とフェンス固定アングルの孔を合わせて、ベースプレートを【4-3】で取付けてください。(※2)

⑥【4-2】で、床板の下にフェンス固定アングルをあてて2ヶ所取付けてください。

⑦柱控え部材を【5-2】で、床板の下の床板補強材に固定してください。

⑧柱に柱控え部材を【5-1】で、固定してください。

### (2) 正面大引き固定の場合

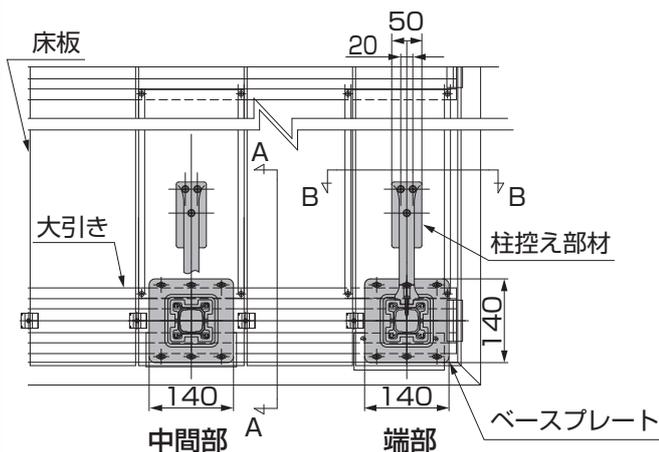


図4-29

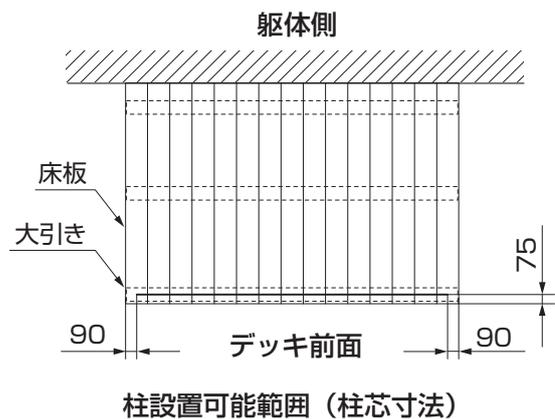


図4-30

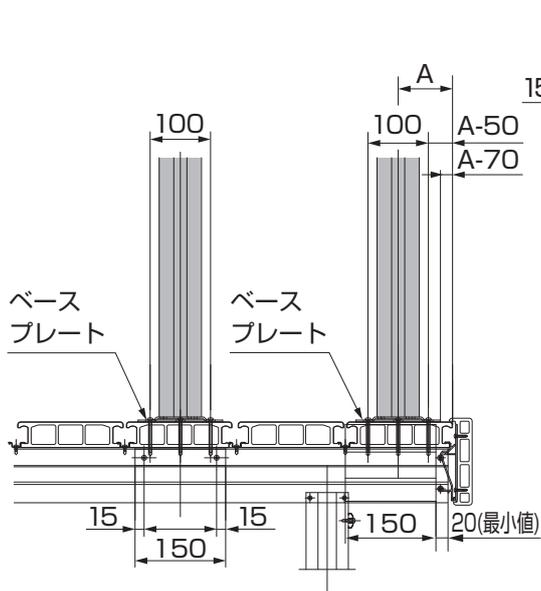
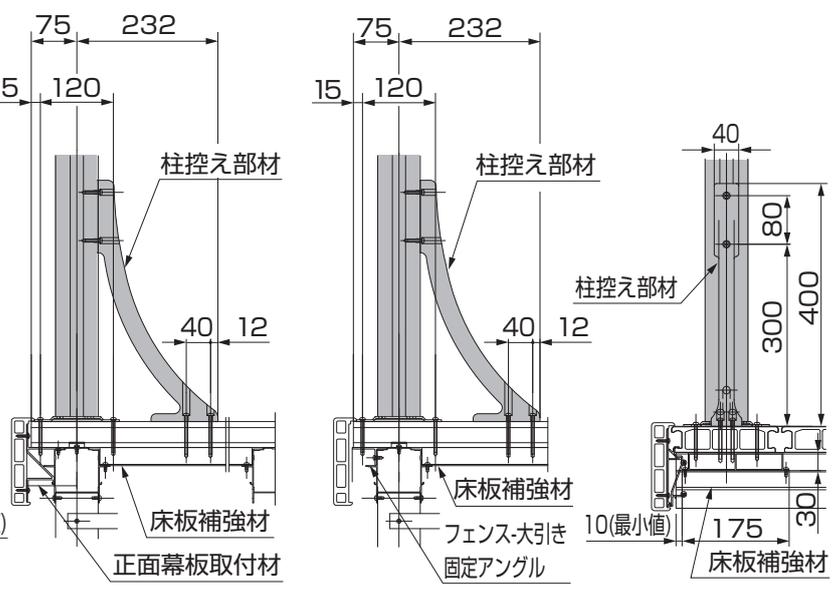


図4-31



A-A矢視図

図4-32

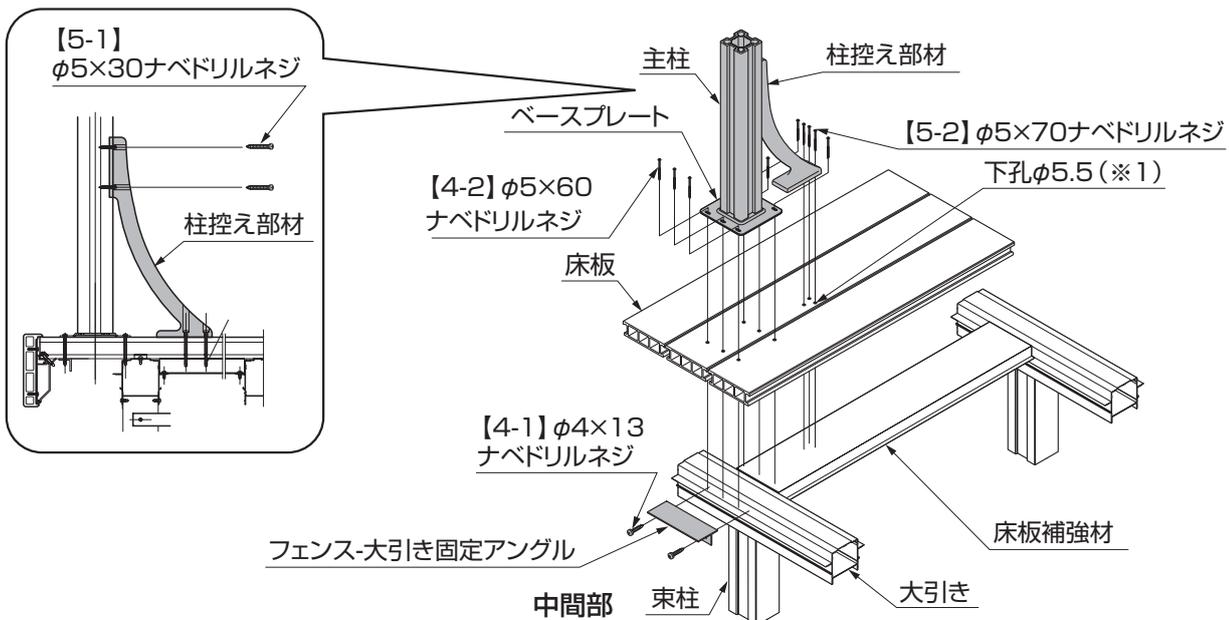
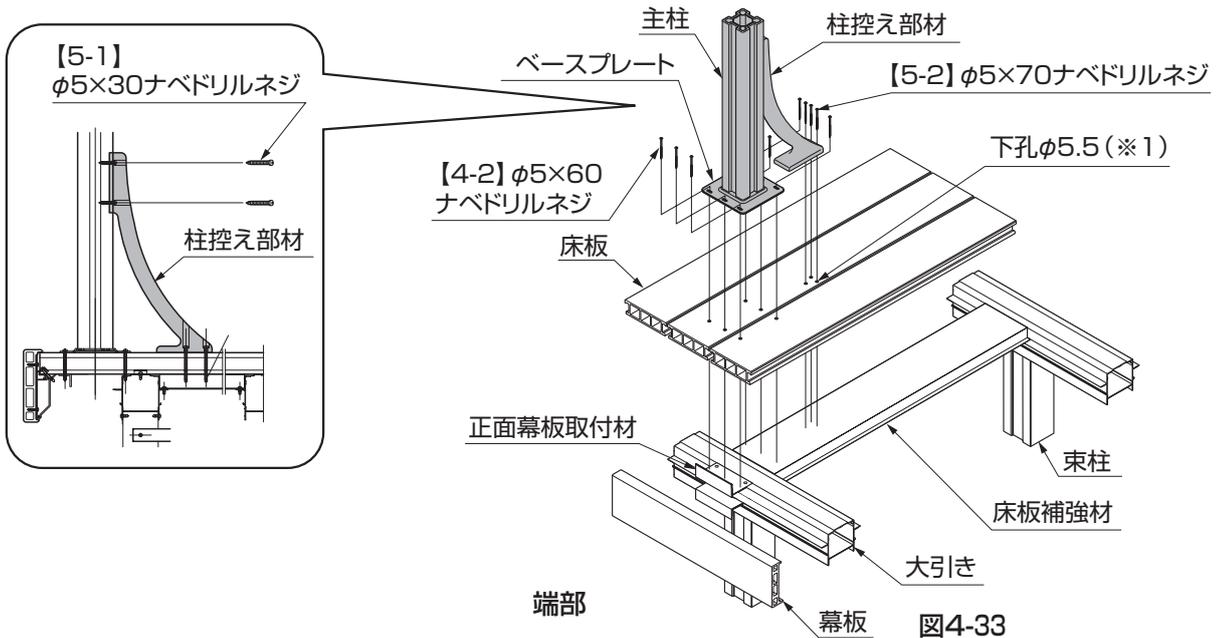
B-B矢視図

## 4. つづき

①柱の固定位置を決めてください。

### ポイント

- デッキ施工前に床板補強材を取付けてください。
- デッキの中間部に立てる場合、端部に立てる場合には図4-29、図4-30、図4-31、図4-32を参照して取付けてください。
- 図4-31のA寸法値の最小値は90mmです。
- 図4-31のA寸法値の最大値は、フェンス固定アングルに手が届く約400mmの範囲内で自由に設定することができます。
- 柱は必ず床板の下に床板補強材のある位置に取付けてください。



- ②柱と柱控え部材を取付けるネジ位置をマーキングしてください。
- ③マーキングした床板に、φ5.5の下孔をあけてください。(※1)
- ④中間部の場合は、大引きにフェンス-大引き固定アングルを、【4-1】で取付けてください。
- ⑤ベースプレートを【4-2】で、床板の下の正面幕板取付材またはフェンス-大引き固定アングルに固定してください。
- ⑥柱控え部材を【5-2】で、床板の下の床板補強材に固定してください。
- ⑦柱に柱控え部材を、【5-1】で固定してください。

# 4. つづき

## (3) 側面床板床板固定の場合

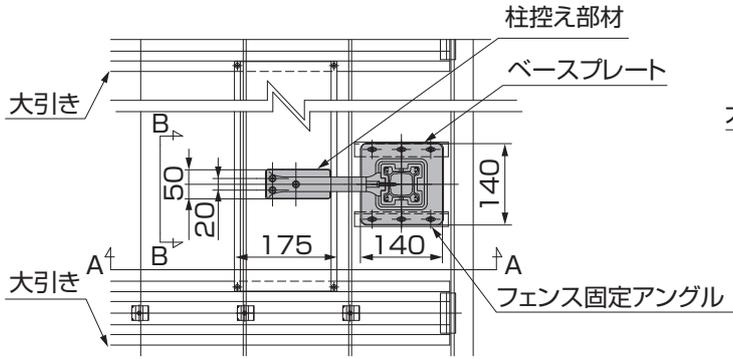
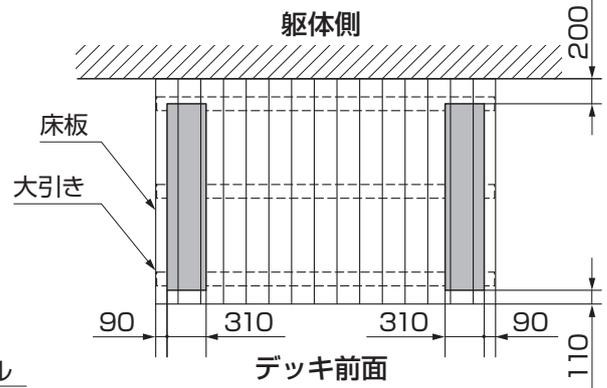


図4-35



柱設置可能範囲 (柱芯寸法)

図4-36

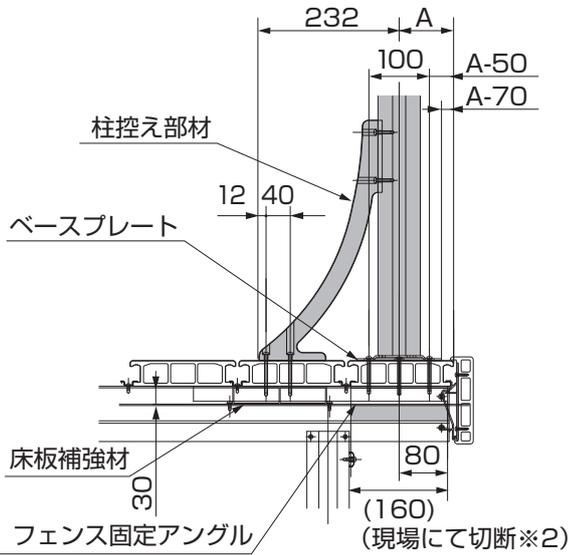
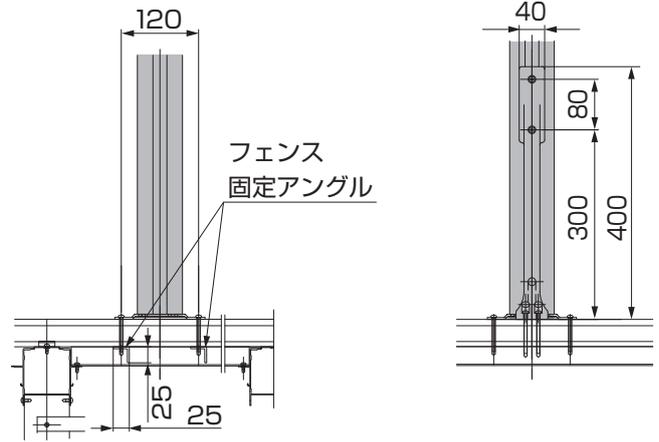


図4-37 A-A矢視図



B-B矢視図

図4-38

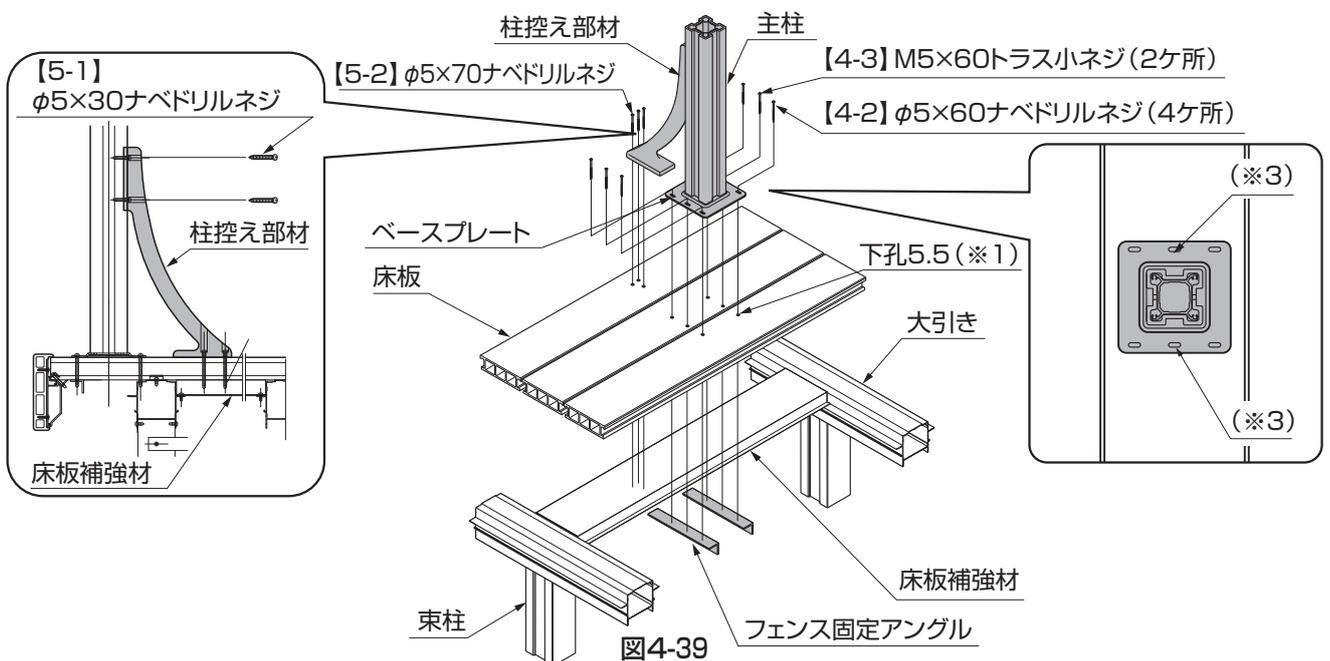


図4-39

## 4. つづき

①柱の固定位置を決めてください。

### ポイント

- デッキ施工前に床板補強材を取付けてください。
- デッキに図4-35、図4-36、図4-37、図4-38を参照して取付けてください。
- 図4-37のA寸法値の最小値は90mmです。
- 図4-37のA寸法値の最大値は、フェンス固定アングルに手が届く約400mmの範囲内で自由に設定することができます。
- 柱を立てる床板の下に床板補強材があることを確認してください。

②ネジ位置をマーキングしてください。

③マーキングした床板にφ5.5の孔をあけてください。(※1)

④フェンス固定アングルを約160mm切断してください。(※2)

⑤デッキの中心の下孔とフェンス固定アングルの下孔を合わせてベースプレートを【4-3】で2ヶ所取付けてください。(※3)

⑥ベースプレートを【4-2】で、床板の下にフェンス固定アングルをあてて4ヶ所取付けてください。

⑦柱控え部材を【5-2】で、床板の下の床板補強材に取付けてください。

⑧柱に柱控え部材を【5-1】で、固定してください。

### (4) 側面床板補強材固定の場合

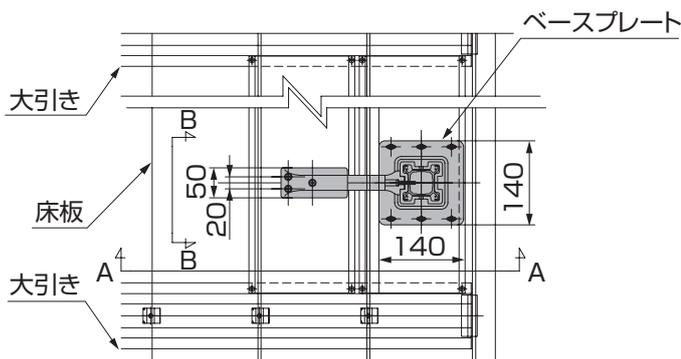


図4-40

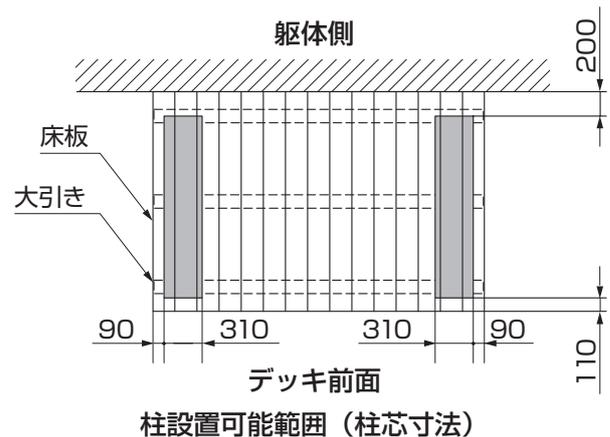


図4-41

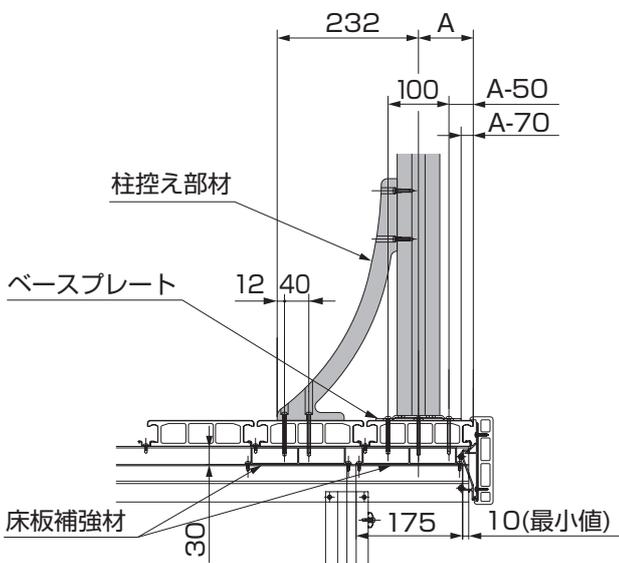
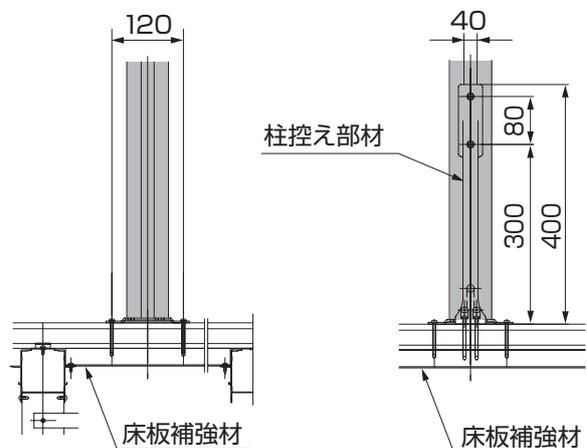


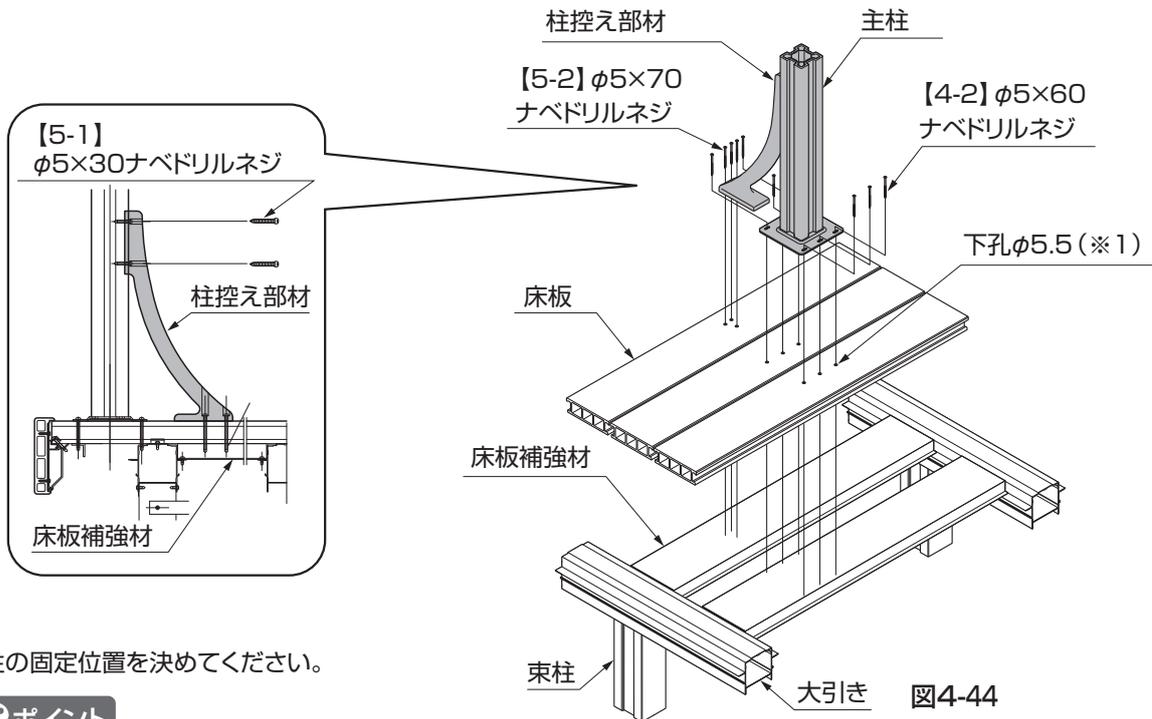
図4-42 A-A矢視図



B-B矢視図

図4-43

## 4. つづき



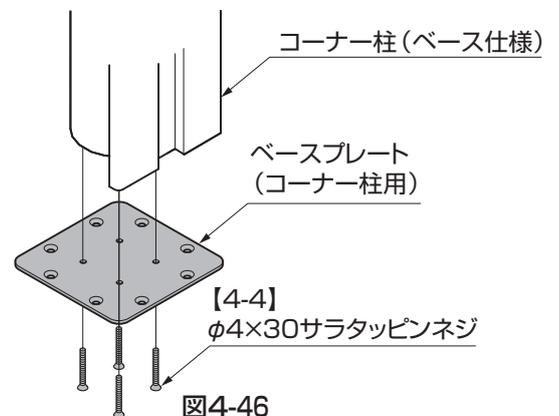
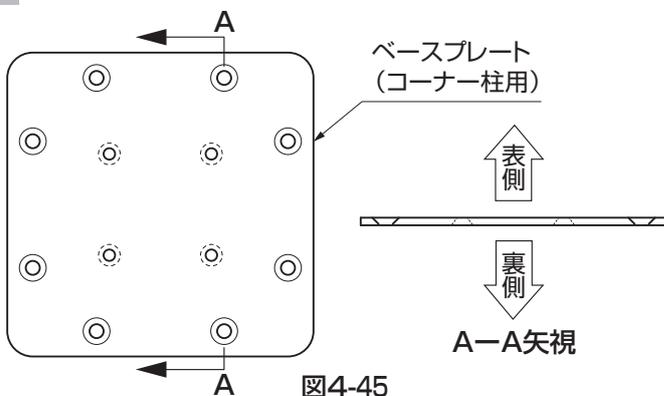
①柱の固定位置を決めてください。

### ポイント

- デッキ施工前に床板補強材を取付けてください。
- デッキに図4-40、図4-41、図4-42、図4-43を参照して取付けてください。
- 図4-42のA寸法値の最小値は90mmです。
- 図4-42のA寸法値の最大値はフェンス固定アングルに手が届く範囲(約400mm)で自由に設定することができます。
- 柱を立てる床板の下に床板補強材があることを確認してください。

- ②ネジ位置をマーキングしてください。  
 ③マーキングした床板に、φ5.5の下孔をあけてください。(※1)  
 ④ベースプレートを【4-2】で、床板の下の床板補強材まで取付けてください。  
 ⑤柱控え部材を【5-2】で、床板の下の床板補強材まで取付けてください。  
 ⑥柱に柱控え部材を【5-1】で、固定してください。

### 4-3 コーナー柱(ベース仕様)の場合



### ポイント

- 外側のサラ孔が上向きになっている面が表側です。(図4-45参照)

①ベースプレート(コーナー柱用)の裏側から、コーナー柱(ベース仕様)を【4-4】で4ヶ所固定してください。(図4-46参照)

## 4. つづき

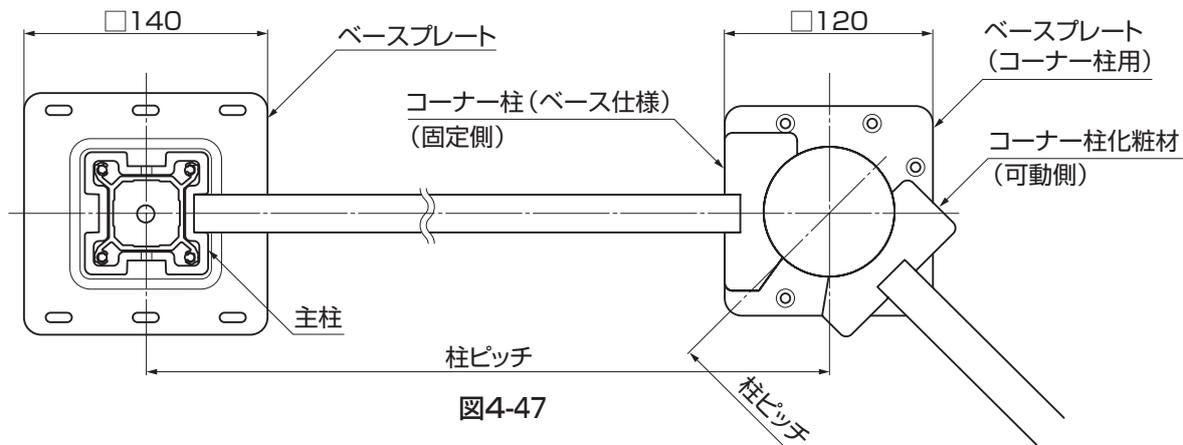


図4-47

②主柱のベースプレートと、コーナー柱のベースプレート（コーナー柱用）が芯一芯でならぶように配置し、柱の固定位置を決めてください。（図4-47参照）

### 補足

- コーナー柱を使用する場合は、柱ピッチが異なるので注意してください。「1.施工時の重要注意事項」を参照してください。

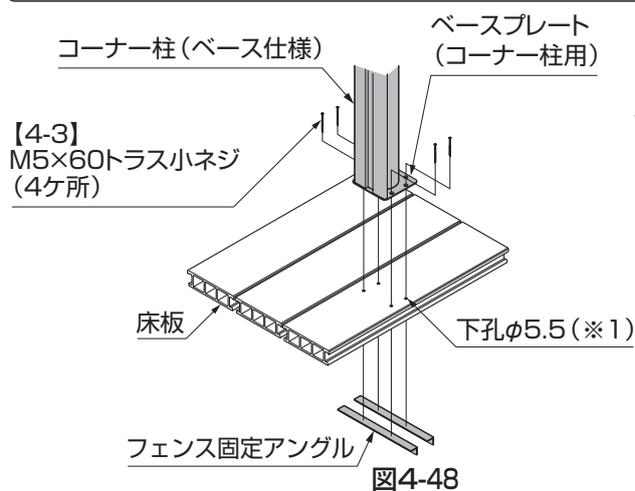


図4-48

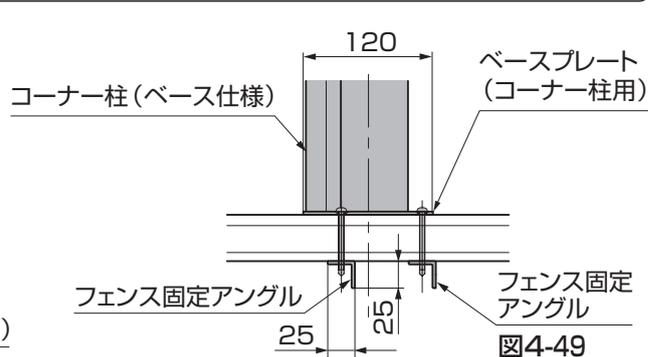


図4-49

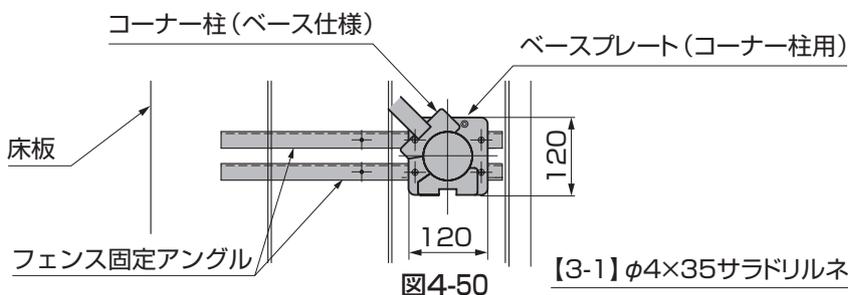


図4-50

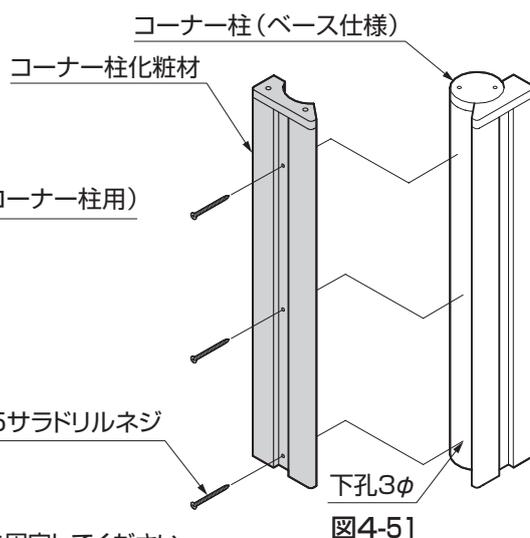


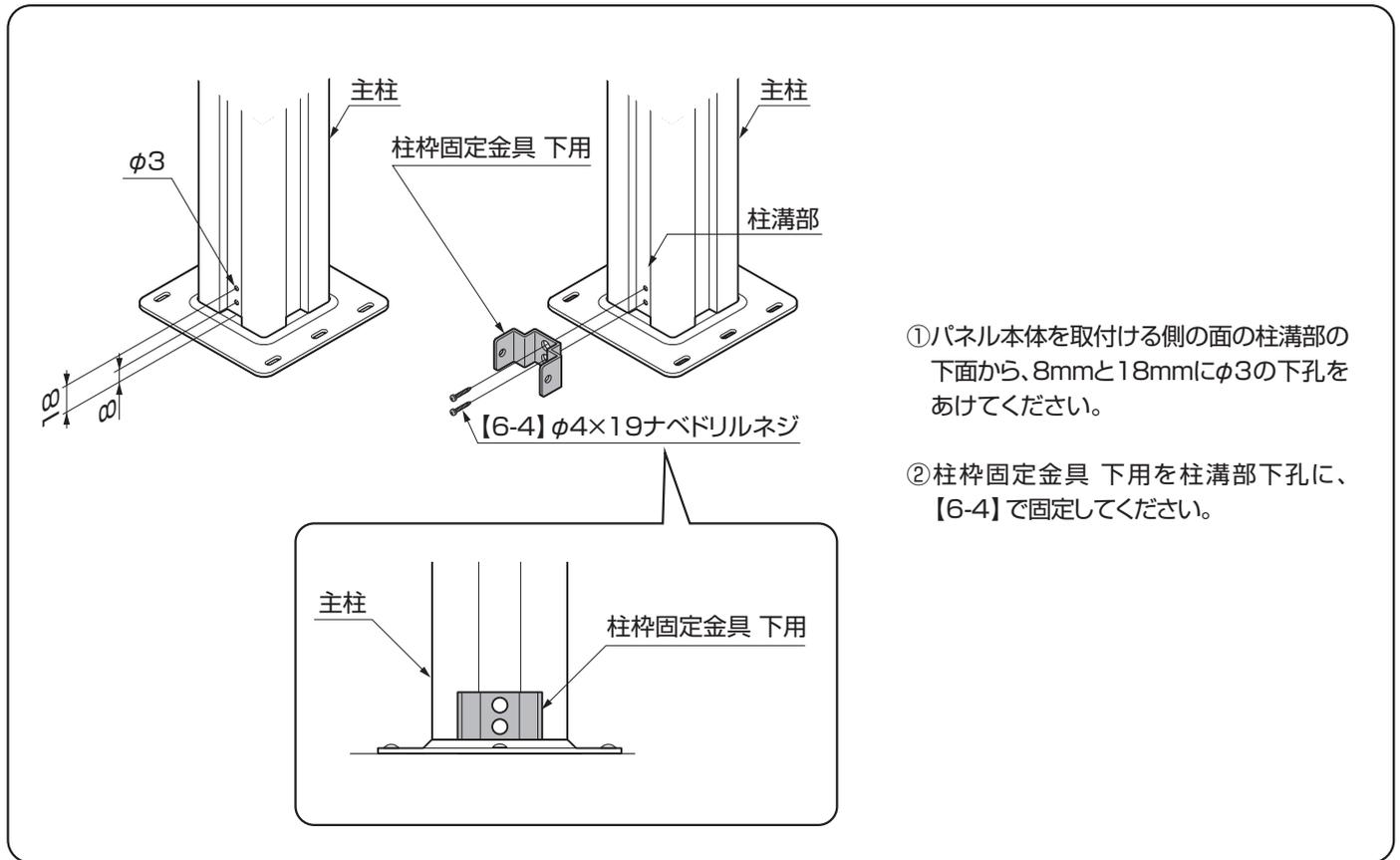
図4-51

- ③ネジ位置をマーキングしてください。
- ④マーキングした床板に $\phi 5.5$ の下孔をあけてください。（※1）
- ⑤フェンス固定アングルの位置を合わせて、【4-3】でベースプレートを固定してください。
- ⑥コーナー柱化粧材を任意の角度に合わせ、コーナー柱に $\phi 3$ の下孔をあけて、【3-1】で固定してください。

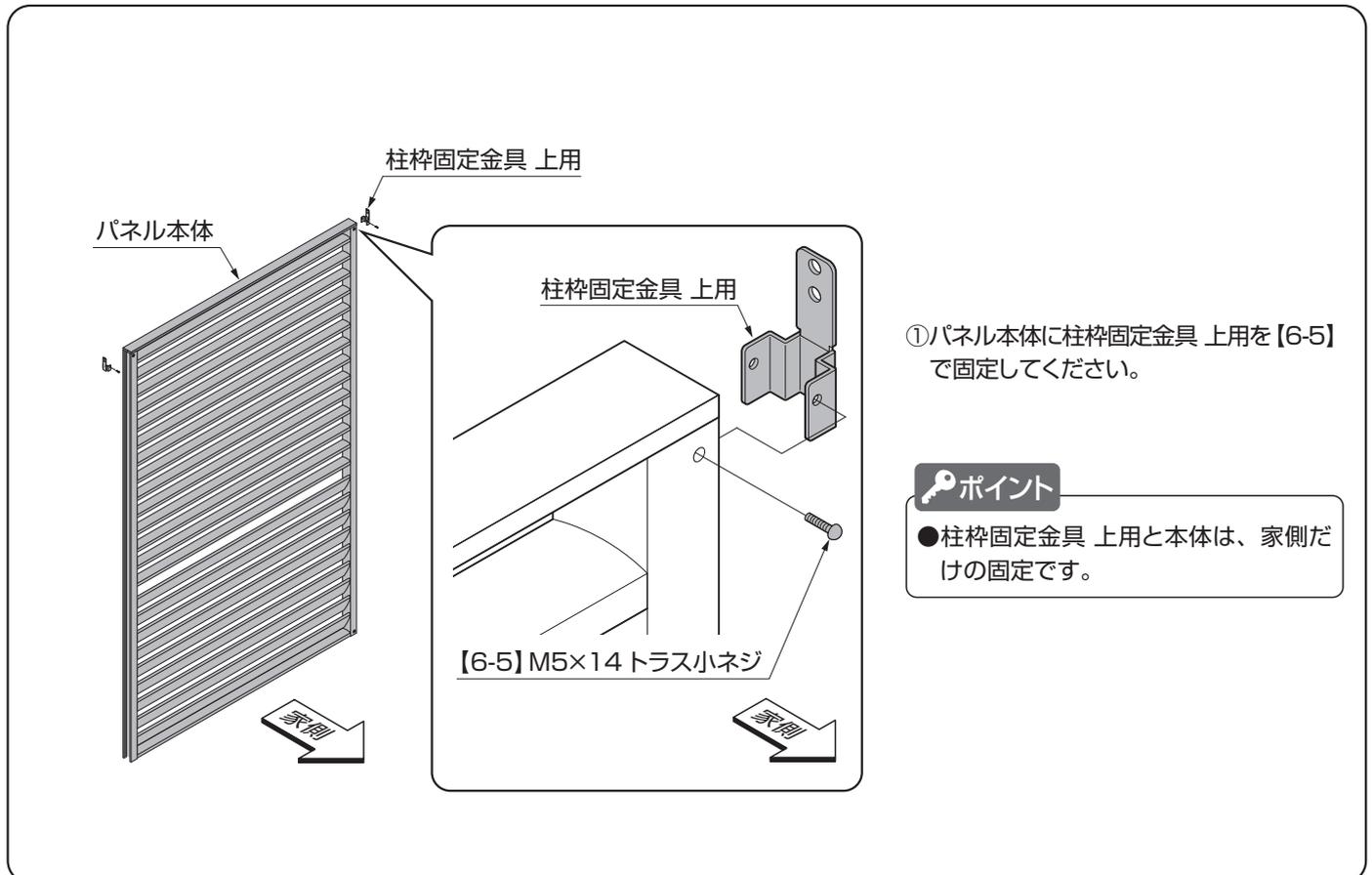
### 補足

- 柱一柱間のピッチは、下線を仮置きするなどの方法で、正しく計測してください。
- コーナー角の対応角は $180^{\circ} \sim 90^{\circ}$ です。

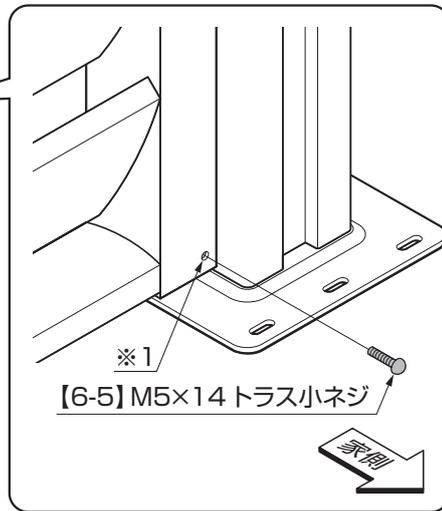
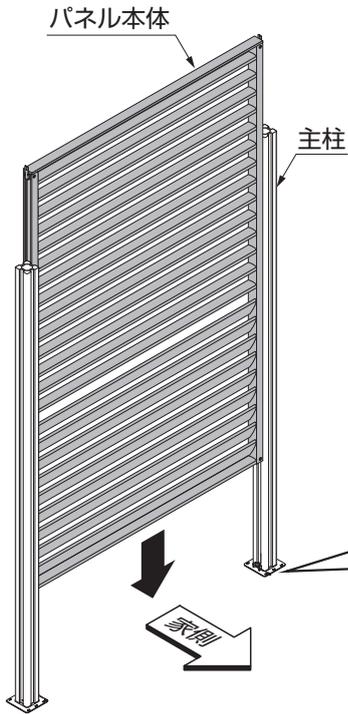
## 5. 柱枠固定金具 下用の取付け ※下様の組付位置は、所定の高さから変更できません。



## 6. 柱枠固定金具 上用の取付け



## 7. パネル本体の固定



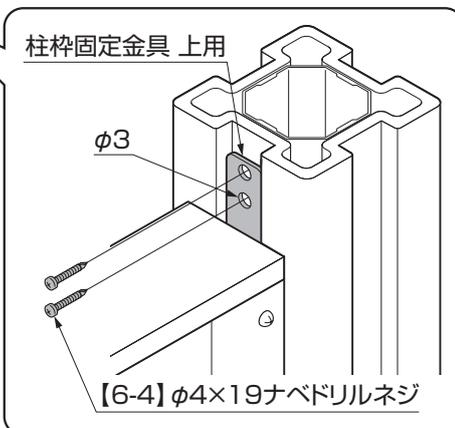
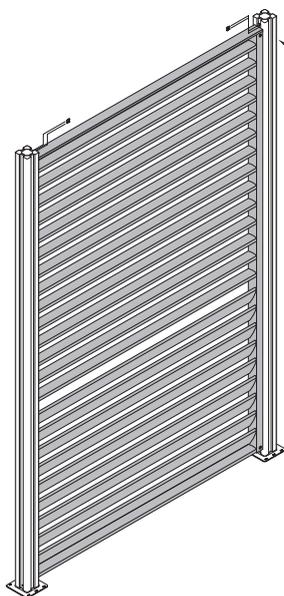
① パネル本体に取付けた柱枠固定金具 上  
用を柱溝部に挿入し、パネル本体を柱枠  
固定金具 下用に【6-5】で固定してくだ  
さい。

### ポイント

● 柱枠固定金具 下用と本体は、家側だ  
けの固定です。

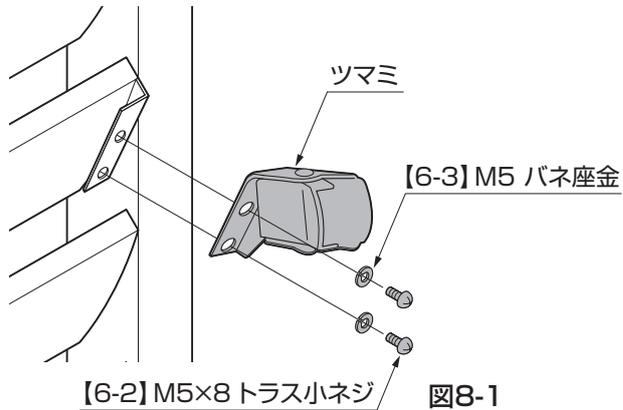
### ポイント

● 柱枠固定金具 下用組付孔(※1)があ  
る面を家側にして組付けてください。

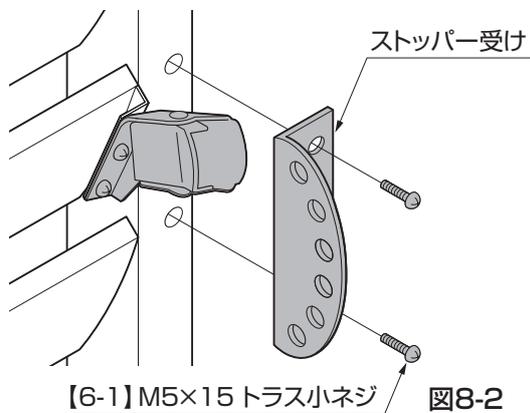


② 柱枠固定金具 上用の孔にそって、柱に  
φ3の下孔をあけて、【6-4】で固定して  
ください。

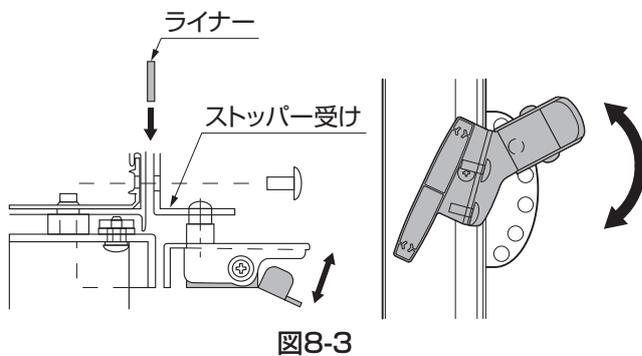
## 8. ツマミ・ストッパー受けの取付け



①パネル本体にツマミを、【6-2】と【6-3】で固定してください。



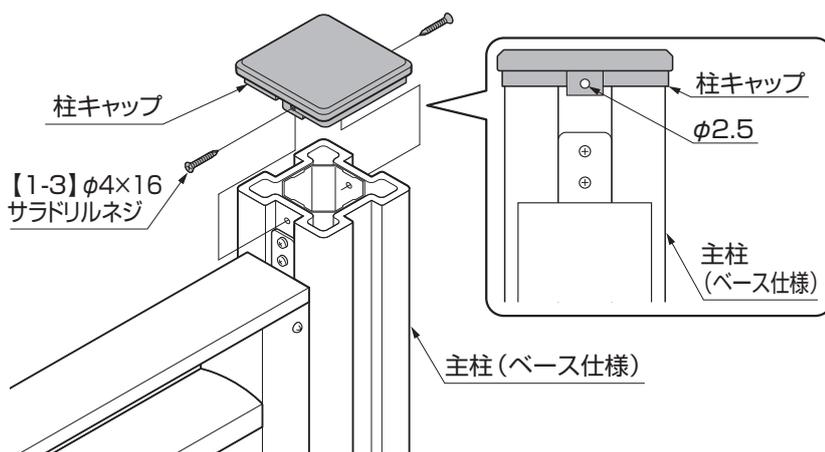
②パネル本体にストッパー受けを、【6-1】で固定してください。



### ポイント

●ツマミのピンがスムーズにストッパー受けに入らない場合は、ライナーで高さを調整してください。(図8-3参照)

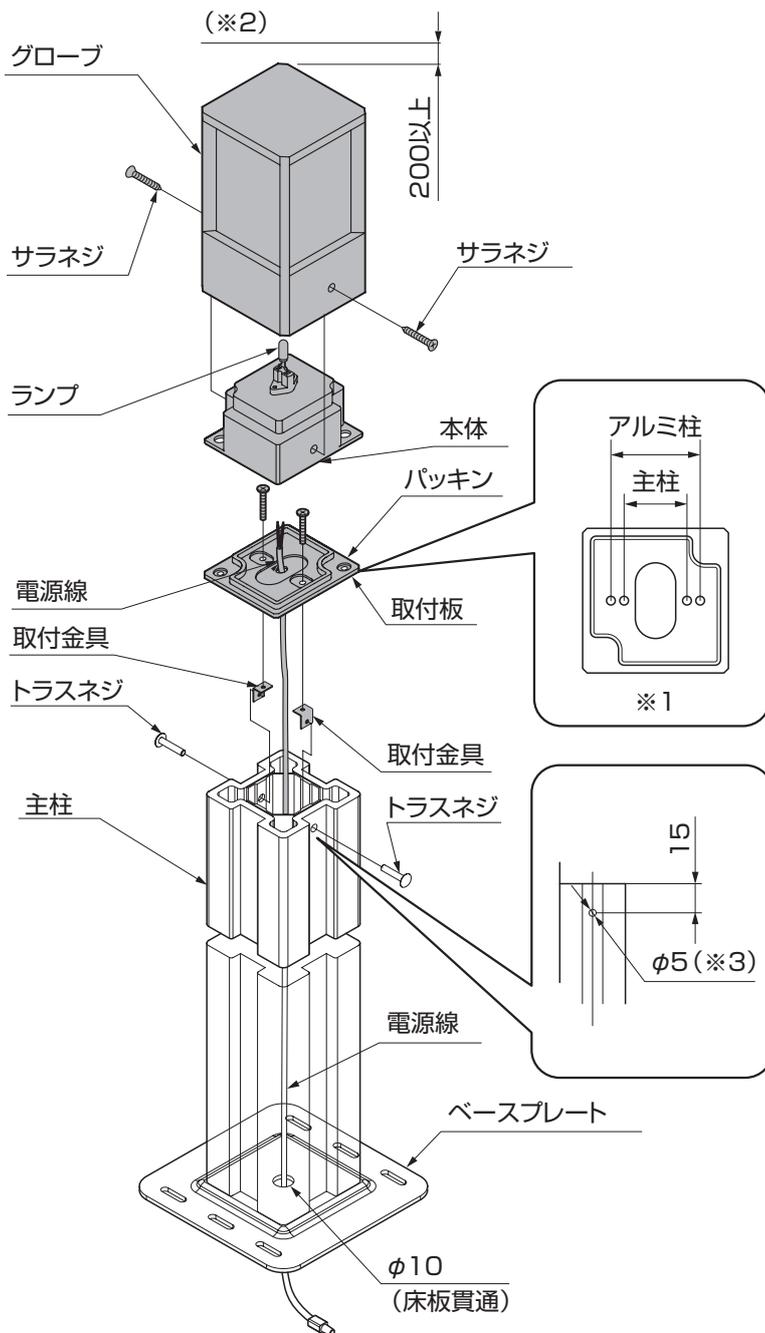
## 9. 柱キャップの取付け



①パネル本体が取付いている向きに、柱キャップのネジ位置を合わせて、柱キャップのネジ位置にそって柱に、φ2.5の下孔をあけてください。

②柱キャップを主柱に、【1-3】で固定してください。

## 10. 門柱灯の取付 **オプション**



- ①取付金具を取付板に固定する為、パッキンにネジが通る穴をあけてください。

### **ポイント**

- 主柱の場合は内側、アルミ柱の場合は外側に穴をあけてください。(※1)

### **補足**

- 電球交換などのメンテナンス作業をするためには、グローブ天面に200mm以上のスペースが必要です。(※2)

- ②柱に門柱灯を取付ける為の下孔をあけてください。(※3)

- ③電源線を柱の中に入れ、ベースプレートの孔まで配線を傷付かない様に慎重に通してください。

- ④柱照明本体を取付けてください。

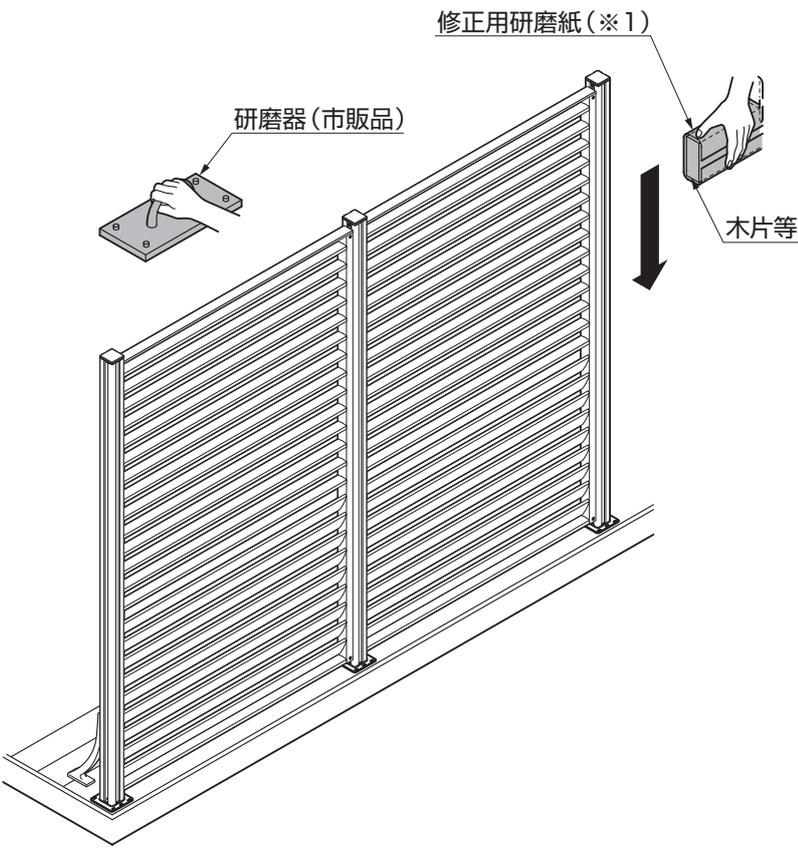
### **ポイント**

- あらかじめベースプレートが取付く面の床板にφ10の貫通穴をあけてください。

### **補足**

- 配線方法などの詳細は、「門柱灯 DHH-3 型〈Z219〉」の取付説明書を参照してください。

## 11. 施工後の仕上げ



修正用研磨紙 (※1)

研磨器 (市販品)

木片等

**ポイント**

- 施工後、表面に付いたすりキズは取付説明書に同梱している修正用研磨紙で補修してください。
- 1ヶ所を集中的に擦るのではなく、全体をぼかす感じで磨いてください。
- 平らな部材を修正用研磨紙の裏から補助的に添えて、研磨紙面をフラットに当てるようにしてください。(※1)
- 製品お引き渡しの際は、お客様に修正用研磨紙による補修方法について説明をしてください。

**補足**

- 市販の研磨器等(研磨紙を取付ける器具)を使うときれいに仕上げるができます。
- 市販の研磨紙を利用する際は、60番の研磨紙を使用してください。

